

# まいづる元気人 Vol.79

## 地域防災のために私ができること

朝来消防団で初の女性団員として入団し、広報紙の作成などを担当。昨年の11月には、舞鶴市女性消防隊の一員として京都府代表で、全国女性消防操法大会に出場。FMまいづるの防災サポーターとしても活動するなど、さまざまなことにチャレンジする林さんに、消防団活動のやりがいなどを伺いました。



朝来消防団  
林 晴美 さん

### 家族に活動を伝えたい

夫が訓練している姿を見て、以前から消防団には興味があった。6年前、当時の消防団長に広報紙の作成をお願いされたことが入団するきっかけになったという。広報紙の編集などの経験はなかったが消防団員の家族に活動している姿を伝えたいと、できるだけ分かりやすい表現で写真を多く使ったり、豆知識を入れたりとさまざまな工夫を凝らす。「以前の広報紙は、専門用語が多く使用されていました。子どもでも読みやすいようにポンプ車を消防自動車と表現したり、カラーにして写真を多く使ったりして、多くの人が活動を理解しやすいようにと心掛けています」と教えてくれた。ある時、退職した団員の妻が「夫は、全く家では消防団活動の様子は話してくれなかったけど、地域のためにこんな活動をしているんだということが広報紙を見てよく分かったよ」と話してくれた時は、本当にやっつけて良かった

### 指揮者として

たと感じた。また「地域の消防団員は男性ばかりで話しくかったけど、女性団員の人が入って相談しやすくなったという声も聞くという。指揮者として 広報活動に限らずポンプ点検や操法訓練など、さまざまな活動にチャレンジしていきたいと意欲を見せる。それは現団長である夫や家族の理解とバックアップが欠かせない。昨年の11月には全国女性消防操法大会にチームの指揮者として出場。周りからは適任だと言われた。指揮者とは団員に大きな声で分かりやすく指示を出し、チームを引っ張っていくリーダー的な役割を担う。男性団員に混ざって団内の操法大会に参加していた経験もあり、全国大会に出場する話が来たときは「やってるぞ」と意気込んだ。全国のレベルに比べるとまだまだだと感じ「もう一回あればぜひ参加したい」と闘志を燃やす。一緒に参加した仲間とは、

### 得意なことを生かして

今でもつながりがあるそうだ。消防団に限らず、今は人のために何かすることがなくなってきた。最初から活動に参加したいという人はまれで、人に誘われて入団したとしても、その後辞めずに継続されているのは、やりがいのある活動だからだと思う。それを広報することでもっと参加する人が増えるのではないかと考えている。火災現場などの最前線だけでなく、広報や啓発活動などその人の得意な分野を担い、力を発揮することができ、消防団活動で得た知識や経験で家族を守れることもある。女性ならではの相談や気遣いなどの必要性も感じているそうだ。

今後は後継者を育て、自分自身はもっと活動の場を広げていき、消防自動車の運転などにもチャレンジしていきたいと熱く語る。これからもその元気な笑顔と大きな声で、地域防災を引っ張る指揮者として活動を続けてほしい。

# ユネスコ世界記憶遺産 登録から5年 次世代への継承から次世代による継承へ



府立京都学・歴史館特別講演(リモート)でパネル説明をする中学生・高校生の語り部



引揚記念館(☎68・0836) 平成27年10月10日に本市が所蔵する引き揚げ関連資料「舞鶴への生還1945-1956シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録」が、ユネスコ世界記憶遺産に登録され、今年で5周年を迎えます。登録から5年間で「特に希少性が高く、世界的にも重要性を持ち、広く世界の人々が共有すべき資料」と認められた資料の活用保存に適した施設整備を進めるとともに「抑留から交流へ」と、世界の関係都市との調査交流や全国の引揚港で開催する巡回展などを展開。また、次世代を担う中学生・高校生の語り部を育成するなど、未来に向けた継承活動にも取り組んできました。

## 平和未来フォーラム

まちぐるみで目指したユネスコ世界記憶遺産登録の意義を振り返り、世界の恒久平和を願う市民の皆さんと未来を担う次世代と一緒に考える「平和未来フォーラム」を開催。  
【日時】10月10日(土)13時~15時30分  
【場所】総合文化会館  
【内容】登録後の5年間の取り組みの紹介や中学生・高校生による平和への取り組み発表など

## 特別企画展「世界の記憶」

国内の世界記憶遺産登録資料の御堂関白記や慶長遣欧使節関係資料など7件を紹介。  
【日時】12月20日(日)まで、9時~17時  
【場所】引揚記念館  
【その他】入館料が必要

## 10月7日は舞鶴引き揚げの日

~市民認知度100%プロジェクト~  
「舞鶴引き揚げの日」制定をきっかけに、引き揚げの史実をまちぐるみで次世代へ継承する取り組みを実施していくため、昨年度から『「舞鶴引き揚げの日」協働で目指す市民認知度100%プロジェクト』を実施。プロジェクト2年目となる今年の主なる事業は次のとおり。  
◆「舞鶴引き揚げの日」セレモニー  
10月7日(水)13時15分から折り鶴アートの披露などを行うセレモニーを開催。  
◆舞鶴引き揚げ折り鶴アート  
皆さんから応募してもらった折り鶴で「舞鶴引き揚げの日」ロゴをかたどる折り鶴アートを作成。  
◆小・中学校給食での「引揚メニュー」の提供  
舞鶴引揚援護局で引揚者をもてなした「引揚メニュー(カレー汁とアジの天ぷら)」を市内の小・中学校給食で提供します。



ツクバナ(ビャクダン科) vol.166

関東以西・四国・九州の低山地の日当たりの良い林縁などに生える落葉低木。自らも葉緑素を持つが、モミなどの根に半寄生し成長する。枝はよく分かれ、水平か、やや垂れ気味になる。葉は対生し、長さ3~8cmの長楕円形で先は尾状に尖る。雌雄異株。初夏、枝先に淡緑色の小さな花を付ける。雄花は数個集まって付き、雌花は枝先に1個咲き、葉のような苞葉が4枚付く。  
名前の由来は、羽状に成長した苞葉を付けた果実が「羽根突き」の羽根に似ていることから。  
【協力】瓜生勝朗/文化財保護審議会委員(植物分野)